

新チームで目指した勝利

◎第15回宇和島市・北宇和郡中学校新人総合体育大会

「第15回宇和島市・北宇和郡中学校新人総合体育大会」は9月30日、10月1日・2日の3日間にわたり、宇和島市・鬼北町の各会場で行われました。

会場では、3密対策のほか、受付での検温や大声での応援を自粛するなど新型コロナウイルス感染対策がとられ、選手たちは、日々の練習の成果を発揮しようと、白熱した試合を繰り広げていました。



主な大会結果(県大会出場者)は次のとおりです。

【団体】

▶バレーボール女子②広見中▶ソフトテニス女子②日吉中▶軟式野球①広見中

【個人】

▶ソフトテニス男子①和氣真宏・入田純友(日吉)▶ソフトテニス女子③坂本洗華・松宮菜々美(日吉)／⑤尾崎優里・馬木里緒(日吉)▶柔道男子③能田哲史(広見)



若者と連携した認知症対策

◎鬼北町オレンジプロジェクト 2020



9月21日、近永公民館で「鬼北町オレンジプロジェクト2020」が開催され、愛媛大学教育学部の学生や教育関係者らが、鬼北町の認知症対策について学びました。

参加者らは、まず認知症サポーター講座を受けた後、見守りネットワークのステッカーが貼られている店舗等を調査。高齢者を保護した経験を持つ方の話も参考にしながら、鬼北町の取り組みをより効果的なものにするための仕組みづくりについて話し合いました。今後、大学と協力して高校生向けの講座をつくる予定です。

みんなで考える近永駅周辺の未来

◎近永駅周辺賑わい創出プロジェクト



9月26日、近永公民館で近永駅周辺賑わい創出プロジェクト第1回ワークショップが開催されました。

ワークショップでは、好藤出身で元愛媛県副知事の上甲俊史さんが出席し、予土線存続に関する講話がありました。参加者は、地域住民や北宇和高校の生徒など立場はさまざま。「新しい駅での交流」や「駅前広場の活用」など6つのテーマに分かれ、課題や解決の方向について熱心に意見を出し合いました。なお、ワークショップは12月まで毎月開催する予定です。